

# 竹村ほまれ 議会だより

2019/3/30 No.032

後援会責任者 林高文 83-0341  
竹村ほまれ連絡先 電話/FAX: 83-1090  
携帯: 090-6545-2254  
HP、ブログ、FB:

竹村ほまれ と入力し検索を



## 来る春への期待

三寒四温とスギ花粉に体調を崩しやすい時季ですが、花の開花と共に、暖かい日差しと長くなつた日照時間が春を感じさせてくれます。

## 新たなステージに展望を

議員になって早2期8年、この春は議会改選の年です。私はこの間、多くの人に支えられながらも、直面する地域の課題に真摯に向き合い、市政を質してまいりました。今後、市民の願いが叶う駒ヶ根市になるよう力を尽くしてまいります。

今号は3月議会の一般質問と平成30年度中に市政を質した課題(裏面)を掲載し報告いたします。



## 3月議会の一般質問

### ① 森林環境譲与税の活用による展望は

**質問** 森林は土地の保全、水源のかん養、自然環境の保全、温暖化防止、林産物の供給、保養の役割で多くの還元を与えてくれる。新たに創設される森林環境譲与税を活用して、当市の山林環境と地産地消に活かす展望は。

### 見込まれる譲与税で

#### 条件整備を進めたい

**市長** 森林環境譲与税の当市への譲与額は平成31年度750万円、以降段階的に増加し14年後には2530万円が見込まれる。森林整備を進めるための所有者の特定や意向調査、境界の明確化、人材育成、担い手の確保等の条件整備を進めていきたい。

### ☆吉瀬の森林整備計画

#### の防災上の検証は

**質問** 吉瀬地区の森林整備計画の認可は、この地が、急峻な地域特性と全地域が土砂災害警戒地域に指定されており、一応に森林環境保全整備事業の基準に従い計画されるのでは危険すぎる。防災に関し十分検証されているか。

#### 安全検討充分されている

**市長** 吉瀬地区の森林経営計画は土壌流出を防ぐため、災害防止土壌保全機能を高めるための伐採計画としており、災害に対する安全の検討も十分されている。

### ☆地域の特性を考慮し

**質問** 森林整備の認可にあつては、昨今の異常な気象環境から、危機管理課と横の連携を図り、地域の地形特性に考慮した、認可の検証をしていく考えは。

#### 情報共有で万全を期す

**市長** 地域防災の観点からも危機管理課をはじめ庁内で連携をして情報共有を図り、防災体制に万全を期していきたい。

### ② 中沢メガソーラー

#### 発電事業計画は

**質問** 中沢メガソーラー事業計画は、区と業者間で合意書を取り交わし締結に向かう、或いは計画の再考を探るとした時、現在どのような段階にあると、立会人である駒ヶ根市は認識しているのか。

#### 事業推進に最後の調整

**市長** 現状では事業推進に向け最後の調整が進められている段階。年度内の締結を目指しているところであり、市も中沢区と一緒に対応していきたい。

### ☆水文データと電磁波の安全性の検証を

**質問** 対策を適切に行つとした合意内容に基づき、排水に係わる※水文データと送電路線の電磁波を検証して、安全性の判断をしていく事が必要と考えますが。

※水文データは、降雨や、排水路の水位、流速、排水量の経時の変化等を元に流出係数を解析など想定。

裏面に続く→

事業者にデータの測定と提出を約束させたい

市長 合意書に付随し、詳細事項について明確にするため、別途締結する覚書に記載し、及び、個別の合意書で事業者にデータの測定と提出を約束させたい。

### ☆安全性の検証設置を

質問 得られた水文及び電磁波のデータを元に、第三者的なモニタリングの検証の場、或いは安全性検証委員会的な組織を設置して、安全安心に配慮していく認識と手立を促す考えは。

### 設置又は検討会等の方法で決定していきたい

市長 データの安全性を裏付けるため、客観的に検証する組織について、今後地元区長や地元住民の意見を尊重し、設置或いは定期的な報告会や検討会等といった方法について市も加わり決定していきたい。



### 自衛隊へ提供の実態は

質問 自衛隊は海外で戦争をする軍隊のごとく性質をせられている中、敬遠される自衛隊への入隊を、自治体動員の強化で協力させ、若者を戦争に駆り立てる役割を担わされていく事になる。当市の個人情報や、自衛隊に提供することへの見解は。

### 情報提供問題ないと理解

総務部長 自衛隊法、施行令第120条の事務は、地方自治法で規定する法定受託事務とされており、本来国が行う事務を、市が変わって処理する事務になるので、情報提供することには問題ないと理解している。

### ◇平成30年度「ほまれ」が市政を質した課題

#### 6月議会

- 農業問題を考える
  - 米の直接交付金や生産調整の廃止による作付状況や耕作者の動向は、人農地ブローンの動向や調整状況は農業経営下支える施策の考えは。TPP11批准の影響―市長見解は。
- 生活保護基準以下の世帯への支援を
  - 当市の生活保護の捕捉率の推計は。生保護利用の周知と活用を考えは。給食費無料化や子ども食堂支援は。
- 登戸研究所の史実に学び、平和を考える取り組みを
  - 登戸研究所の史実を学び語り継いでいく必要性について。
  - 登戸文献保護と資料収集の考えは。展示活動や資料館の必要性は。市内遺産物の収蔵状況と収蔵庫は。

#### 9月議会

- 国民健康保険税の自治体独自の負担軽減策を
  - 国保の構造問題の見解は。
  - 国保税のこども均等割り減額施策、多子世帯の減免施策の考えは。
  - 生活困窮者に国保税の負担軽減を適用する施策を。
- こみ分別区分の変更から、こみ問題の今後を考える
  - 焼却処理が拡大される中、こみ減量を推進する考えは。今後の方策は。資源化を後退させない啓蒙や、取り組みは。



#### 12月議会

- 障がい者雇用の水増し問題は障がい者雇用の水増し問題見解は。当市職員の障がい者雇用の実態は。市内事業所等、就業実態と指導は。
- 中沢メガソーラーの事業は安全・安心が担保された協定に
  - 安全安心の担保と、進捗状況は。協議内容を不開示とした市の対応ごの様な合意のもとで現場の工事が進められているのか。
- 中沢区に対して、協定状況の開示や説明を促す指導の考えは。

- 高校生徒の後押しを
  - 定時制高校必要性について認識は。赤穂高校定時制の給食において改善を求める考えは。
  - 高校再編について県教や協議会から市教に意見を求められているか。高校再編の教育長の見解は。
- 高齢者に思いやりのある施策の充実を
  - 高齢者が過剰な施策の充実を。高齢者口帰り無料入浴券の発行等高齢者が集う施策の充実を。

#### 3月議会 (本文に掲載)

- 地域を育む安全な森林整備の推進を
- 安全安心な中沢メガソーラーに
- 自衛隊への市民の個人情報提供の実態と見解は